

卒業するあなたへのメッセージ

卒業おめでとうございます。人生の節目の一つとなるあなたの門出に、心からのエールを送ります。

2020年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、私たちの生活は大きな影響を受けました。三つの「密」を避けることや「新しい生活様式」を踏まえた日常生活が推奨され、学校生活においても、生徒が一堂に会して行うような学校行事について、多くの学校でリモートによって開催されたことと思います。そういった意味で、あなたが過ごした学校生活の最後の一年間は、行動に制限の多い一年だったのではないのでしょうか。

このような想定外の状況下において、私たちはどうあるべきなのか。確かに、コロナ禍は、私たちの日常に不自由な状況を作り出したとも言えますが、一方で、制限の中で最大の効果を上げるような工夫も生まれました。例えば、佐賀県では全国に先駆けて一人一台タブレットを導入していますが、その恵まれたICT教育の環境を活かして、今年度から本格的に推し進められたオンラインによる学習などは、あなたにとっても身近な工夫の一つではないのでしょうか。今、私たちは困難なこの状況にどう対処するのか試されているのかもしれませんが。私たちが困難を乗り越えたとき、私たちは未来への扉を開くことになるのかもしれません。

ところで、昨年10月に車いすテニスの全仏オープンシングルスで準優勝に輝いた大谷桃子選手^{おたにももこ}のことを知っていますか。大谷選手は高校時代にテニスのダブルスでインターハイに出場するなどの活躍をされていましたが、卒業後、病気のために車椅子生活となり、その後、佐賀の西九州大学に進学して車いすテニスを始め、逆境を乗り越えてこの度の快挙を成し遂げられました。コロナ禍の中で今年度は全国高等学校総合文化祭やインターハイの開催にも大きな影響が及び、それまでの努力の成果を発揮できず、残念な思いをした人も多かったと思います。SSP杯などの代替大会でその悔しさを昇華できた人も、そうでなかった人も、ここで全てが終了するわけではありません。それまで頑張ってきたことは、大谷選手のようにきっとあなたの人生につながっていくはずです。

さて、大谷選手はインタビューの中で、「スポンサーの皆さんや大学のある佐賀地域で応援してくださる方々に対して、『いい報告がしたい』という強い思いが、自分の根っこにあるような気がします」と述べています。あなたの故郷佐賀^{ふるさと}の多くの人が、卒業するあなたのことも応援しています。これからあなたは、激動の時代に突き進みつつある世界へと飛び込んでいくことになります。自らの思い描いていた理想の未来と、厳しい現実との狭間で心が折れそうになることがあるかもしれません。そんな時は、あなたが過ごしてきた学校での日々を思い出してください。友人と励まし合い、笑い合ってきたことや、家族とのかけがえのない時間を思い出すことで、きっと乗り越えることができるでしょう。

あなたが、故郷への想いとその高い志を忘れず、輝かしい未来^{つか}を掴むことを心から願っています。

令和3年3月

佐賀県教育委員会
教育長 落合 裕二